

みんなで作ろう、わが町の拠点づくり

(暮らしを守り、未来を拓く、持続可能な場づくり)

雲南市 久野交流センター

1 久野地区の概要

- ・久野谷 3 里と言われ、山に挟まれた細長い地帯である。
- ・人口 532 人、世帯数 177 戸、高齢化率 44.9%、高齢者の単独世帯数は 17 戸である。
- ・8 年前に久野幼稚園が休園になり、6 年前に幼稚園が閉園、小学校が閉校になった。子ども達は、現在、久野地区から約 20km 離れている大東に通っている。
- ・9 年前に、久野公民館が久野交流センターに変わり、久野地区振興会が久野交流センターの運営及び、地区計画に基づいた防災・福祉・地域振興・生涯学習などの様々な活動を行っている。

2 事業の趣旨

令和元年度、地方創生拠点整備として、旧久野幼稚園を改築し、久野交流センターがそこに移転することに決定した。

その目的は、小さな拠点整備により交流・子育て・福祉事業等連携をより活発にすることである。そこで、旧久野幼稚園を改築にあたり、新しい交流センターのコンセプトや使い方を考え、建設にアイデアを盛り込むことと、参加者がそれらの仕様を考えることで、新交流センターに興味を持つことを目指す。

3 具体的な取組内容

- (1) 新しい久野交流センターの使い方を考えてみよう！
(ねらい→新交流センターに興味を持ってもらう)

ア テーマ説明

- (ア) 幼稚園だった場所の歴史を活かした新たな学びの場
- (イ) 世代、地域を越えた多様な活動が交わる仕掛け
- (ウ) 旧小学校と校庭を介して一体的に利用する風景づくり

イ フィールドワーク(旧幼稚園の中で)

- (ア) それぞれが回って何をしたいか考える。
- (イ) 座ったり、走ったり、登ったりやりたい事を試してみる。(遊ぶ)
- (ウ) 思いついたらアイデアを紙に書き、その場に貼る。

ウ みんなで巡回

みんなで廻り、紙を見て、考えた人が説明する。

エ 1 枚の紙にまとめる。

出来た状態をイメージする。



各部屋を廻りアイデアを聞く



間取り図にアイデアを展開

- (2) 新久野交流センターで自分のやりたいこと(できること)を考えてみよう!

ア 事前準備(アンケート)

久野地区にあったらいいな(妄想)を書いて事前提出する。

イ ワークショップ

- (ア) 2人1組でワークシートに記入する。
○やりたいこと

- どのように
- いつ
- 誰と
- 何が必要
- どうやって人を呼ぶのか
- 目指すべき状態

(イ) 順番に全員が発表する。



アイデア発表の様子

(3) 交流センターで行われている福祉
(買い物・交通支援)を学ぼう！

波多交流センター(掛谷)で取り組ま
れている買い物や交通支援の内容やこれ
に至る流れ、費用対策について話を聞く。



取り組みを聞く様子

(4) 掲示板をつくろう！
(掲示板の機能付きパーテーション作成)

(ねらい→

新交流センターで使えるものを作成
することで、物を通した愛着を育む)

ア 移動式掲示板の仕組みを考える。

イ 移動式掲示板をつくる。

4 評価と成果

(1) 最初に旧久野幼稚園を訪問したこ
とで、旧久野幼稚園の建具や、園歌な
ど歴史や思い出の品々を新交流セン
ターに再利用するきっかけとなった。
また、地区外の人から園舎の周りの風
景が素晴らしいと聞くことによって、
参加者はよい環境の中でスタートす
る交流センターに想いをつなぐきっ
かけとなった。

(2) 講師に建築家をお呼びしたこと
により、風景と室内の空間の使い方や、
コミュニティができる仕掛け等参考
になった。

(3) 今回行われたワークショップは、主
に若い世代や壮年層が多く、それぞ
れの世代にあった意見が出た。その中
でも高齢者目線に立つのも大事との言
葉があり、高齢者にも使いやすい仕様
を考えるきっかけとなった。

(4) 2回目のワークショップでは個人
個人の夢実現構想を考え発表した。
今回は事前アンケートを取り、同じ
思いを持つ人をグループ化すること
で、つながりづくりとなった。

(5) 手作りの掲示板が、活動内容の報告
やPR、他多くの利用が見込まれる。

5 今後の課題と見通し

この1年、様々なワークショップや勉強
会を実施した。これからは勉強した内容や
想いを、具体的に目に見える形で成果を出
していくことが求められる。

企画を実現できるように、①各企画の整
理 ②準備の段取り ③開催日の決定など
のスケジュールを決めて段取りよく進めて
いくことが求められる。このスケジュール
を実行し、実現することで、個人の成長と
なり、やがて町の成長につながることに期
待したい。

(文責：集落支援員 長妻美保子)